

「Aterm WM3800R」正誤表

AM1-002245-002
2013年2月 第2版



この度は「Aterm WM3800R」をお求めいただき、まことにありがとうございます。
添付されております CD-ROM 内に収録の「取扱説明書」、「つなぎかたガイド①」AM1-002167-001 および「つなぎかたガイド②」AM1-002168-001 には、下記の誤りがあります。お手数ですが、「正」に読み替えてくださるようお願いいたします。

No.	記載箇所	正	誤
1	<p>取扱説明書 3 ページ 「■電波に関する 注意事項」</p> <p>つなぎかたガイド ② 裏面 「電波に関する注 意事項」</p>	<p>●IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時 および Bluetooth によるリモート起動設定した休止状態では、2.4GHz 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。</p> <p>●本商品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、移動体識別装置の帯域が回避可能ですが、Bluetooth 使用時は移動体識別装置の帯域を回避不可能です。変調方式として DS-SS 方式、OFDM 方式および FH-SS 方式を採用しており、与干渉距離は、DS-SS 方式および OFDM 方式で 40m、FH-SS 方式で 10m です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px;">2.4DS4/OF4/FH1</div> <p>2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を示す DS4 : DS-SS方式で想定される干渉距離が40m以下であることを示す OF4 : OFDM方式で想定される干渉距離が40m以下であることを示す FH1 : FH-SS方式で想定される干渉距離が10m以下であることを示す</p> <p>■ ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ本商品としては移動体識別装置の帯域を回避不可能であることを示す</p> <p>(1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。</p> <p>(2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか（IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時のみ）、使用場所を変えるか、または機器を電源OFF（電波の発射を停止）にしてください。</p> <p>(3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問合せ先にお問合せください。</p>	<p>●IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。</p> <p>●IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として FH-SS 方式、DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は、FH-SS 方式で 10m、DS-SS 方式および OFDM 方式で 40m です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px;">2.4DS/ OF4 /FH1</div> <p>2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を示す DS/OF : DS-SS方式およびOFDM方式を示す 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示す FH1 : FH方式で想定される干渉距離が10m以下であることを示す</p> <p>■ ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ本移動体識別装置の帯域を回避可能である</p> <p>(1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線基地局」が運用されていないことを確認してください。</p> <p>(2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）にしてください。</p> <p>(3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問合せ先にお問合せください。</p> <p style="text-align: right;">（裏面に続く）</p>

